

平成 30 年 4 月入学

大 学 院

生物システム応用科学府

(B A S E)

生物機能システム科学専攻

博士前期課程 (修士)

学生募集要項 (第 2 次募集)

東 京 農 工 大 学

生物システム応用科学府のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

生物機能システム科学専攻のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

生物機能システム科学専攻は、複雑な生物機能に学ぶことで発想される物質生産及び変換、情報処理及び伝達、環境計測、生体計測、物質循環等に関わる様々なシステムを理解するための学問、学術分野を基盤として、農学と工学に係る幅広い実業界で活躍できる修士人材と、高度な科学的素養と課題解決力を具え、先導的な研究実施能力を有する博士人材の養成を目的とする。

よって、次のような人材を求める。

・生物に学び、その機能を生かした物質、機械、情報、医療・健康、医薬、物質循環等、様々な農工融合の新たなシステムに関心があり、これらの知識や技術の習得を通して、幅広い分野で活躍する意欲のある者。

・特定の分野の知識・技能だけではなく、関連する分野の素養を基礎として、学際的な分野への対応能力を含めた高度な専門的知識や実験・計測技術の習得に関心を持ち、これらの活用により持続可能で安全・安心な社会へ貢献する意欲のある者。

・産業界や国際的ニーズの潮流を理解し、実践的な課題の発見や課題解決に挑戦する意欲をもつ者。

(前期課程)

指導予定教員との連絡について（必須）

出願にあたっては、志望する指導予定教員へ連絡をとり、研究内容及び学力試験日程等の確認を必ず行ってください。

また、合格した場合は、指導予定教員へ連絡し、今後の研究計画等の打ち合わせを必ず行ってください。

生物システム応用科学府（BASE）事務室

**平成 30 年 4 月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻博士前期課程(修士)
学生募集要項 (第 2 次募集)**

本専攻は前期課程(修士)と後期課程(博士)からなり、この募集要項は前期課程(修士)についてのものである。本学府に関する概要、所属教員の研究内容等については別添案内「東京農工大学大学院生物システム応用科学府」を参照のこと。

1 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人員	備考
生物機能システム科学専攻	若干名	外国人留学生若干名及び社会人特別選抜入学生を含む。

2 出願資格

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- ① 大学を卒業した者及び入学する月(4月)前までに卒業見込みの者。
- ② 学校教育法(昭和22年法律第6号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び入学する月(4月)前までに学士の学位を授与される見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月(4月)前までに修了見込みの者。
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月(4月)前までに修了見込みの者。
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する月(4月)前までに修了見込みの者。
- ⑥ 専修学校の専門課程で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学する月(4月)前までに修了見込みの者。
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑧ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定する者に限る。)において、修業年限が三年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって⑤号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑨ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月の1日現在22歳に達した者。
- ⑩ 入学する月(4月)の前までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学府が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。ただし、平成30年3月卒業見込みの者を除く。

注)「出願資格⑨⑩」に該当する者及び「学校教育における課程が16年に満たない者」の認定については、出願資格認定の事前審査を行うので、必ず8月23日(水)～8月24日(木)の期間中に生物システム応用科学府(BASE)事務室に必要書類を提出すること。

(7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照のこと)

(2) 外国人留学生特別選抜の出願資格

次の1)、2) のすべてに該当し、①～⑩のいずれかに該当する者とする。

- 1) 外国籍を有する者（日本国永住許可を得ている者は除く。）
- 2) 出入国管理及び難民認定法において、大学院入学に支障のない在留資格を有する者又は受験の際に有する見込みのある者で、次の各号のいずれかに該当する者。
 - ① 大学を卒業した者及び入学する月（4月）前までに卒業見込みの者。
 - ② 学校教育法（昭和22年法律第6号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び入学する月（4月）前までに学士の学位を授与される見込みの者。
 - ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月（4月）前までに修了見込みの者。
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月（4月）前までに修了見込みの者。
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する月（4月）前までに修了見込みの者。
 - ⑥ 専修学校の専門課程で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学する月（4月）前までに修了見込みの者。
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
 - ⑧ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定する者に限る。）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑨ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月の1日現在22歳に達した者。
 - ⑩ 入学する月（4月）前までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学府が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。ただし、平成30年3月卒業見込みの者を除く。

注)「出願資格⑨⑩」に該当する者及び「学校教育における課程が16年に満たない者」の認定については、出願資格認定の事前審査を行うので、必ず8月23日（水）～8月24日（木）の期間中に生物システム応用科学府（BASE）事務室に必要書類を提出すること。

（7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照のこと）

(3) 社会人特別選抜の出願資格

次に該当する者とする。

- ① 一般選抜の出願資格（⑩を除く）に加え、出願する時点で各種研究機関、教育機関又は企業等に1年以上勤務中の者、又は最終学校卒業後1年以上職にあった者。

注)「出願資格⑨」に該当する者については、出願資格認定の事前審査を行うので、8月23日（水）～8月24日（木）の期間中に生物システム応用科学府（BASE）事務室に必要書類を提出すること。

（7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照のこと）

3 出願期間

平成29年10月19日（木）～平成29年10月20日（金）まで

窓口受付時間：9時30分～11時30分、13時30分～16時30分

4 出願手続

出願にあたっては、出願書類を出願期間中に小金井地区学生支援室入試係に持参すること。

なお、他大学を卒業見込みの者、社会人等で出願書類を郵送する場合は、書留速達とし、出願期間中に小金井地区学生支援室入試係に到着したものを受理する。

(1) 出願書類

出 願 書 類		注 意 事 項
A	志 願 票 (所 定 用 紙)	1) 志望教育研究分野欄には、出願者が志望する教育研究分野を第二志望まで記入することができる。また、指導予定教員欄には出願者が希望する指導教員名を記入すること。 2) 志望グループが2つにわたる場合、専門の口述試験は両志望グループで受験するものとする。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	1) 写真票・受験票には、志願者本人と確認できる写真(脱帽上半身で4cm×3cm)を貼付すること。 2) 志望教育研究分野欄には、志願票に記入したものと同一の内容を記入すること。
C	卒業(見込)証明書 又 は 学 位 授 与 (申 請) 証 明 書	1) 出願資格①、③に該当する者は、出身大学(学部)長が作成した卒業(見込)証明書とする。 2) 出願資格②に該当する者は、学位授与機構長が作成した学位授与(申請)証明書若しくは、出身学校長が作成した学位授与申請証明書。 3) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
D	成 績 証 明 書	1) 最終卒業の学校(学部)長が作成し厳封されたもの。 2) 本学卒業見込みの者は、提出する必要はない。 3) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
E	志 望 理 由 書 (所 定 用 紙)	1) 社会人特別選抜に該当する者。 2) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
F	業 績 報 告 書	社会人特別選抜に該当する者のみ提出すること。随意様式とし、在職中の業績内容の概要を記載したもの(1,000字程度)とする。その他に、研究論文、技術報告書、特許・実用新案等がある場合、その業績を表す文書等の写しも併せて提出すること。
G	学 歴 等 調 書 (所 定 用 紙)	1) 外国人及び出願資格③⑧⑨⑩に該当する者。 2) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
H	入 学 検 定 料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名(フリガナ)を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込金受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出すること。〕 ※入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は納入不要。
I	受付用シール及び 連絡受信先シール (所 定 用 紙)	必要事項を記入すること。提出後、住所等の変更があった場合は速やかに小金井地区学生支援室入試係に連絡すること。
J	そ の 他	1) 外国人は、住民票の写し(国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。)又はパスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。 3) 社会人特別選抜に該当する者は、在職証明書又は在職期間証明書を提出すること。

(2) 出願書類提出先

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

東京農工大学小金井地区学生支援室入試係

東京農工大学小金井キャンパス管理棟(1階)

電話 042(388)7014(直通)

5 選 抜 方 法

入学試験は、下記の日程で実施する。なお、身体に障害がある者で受験及び修学上特別な措置を必要とする者は、小金井地区学生支援室入試係へ申し出ること。

[1] 一般選抜

一般選抜は、学力検査各科目を総合的に評価し、合否判定を行う。

学力検査（筆答及び口述）科目

試験科目等	試験形式
※ 外国語（英語） 100点満点	外部の英語資格試験（いずれか一つ）のスコアシート（成績証明書）の原本を提出すること。 (1) 本学が指定する外部の英語資格試験は、TOEIC公開テスト、TOEIC-IPテスト（本学実施に限る）、TOEFL PBT、TOEFL iBTとする。 (2) 出願書類として提出するスコアシートは、TOEIC、TOEIC-IPテストの場合、Official Score Certificate（公認認定証）の原本とする。TOEFL PBT、TOEFL iBTの場合、Examinee Score Report（受験者用控えスコア票）の原本とする。 (3) スコアシート（成績証明書）原本は、当該試験願書提出期限から遡って2年以内に受験したものに限る。 (4) 願書提出期限までに提出できない場合は、その理由が認められた場合に限り、受験当日までの提出を認める。
小 論 文 100点満点	筆答試験
専 門 100点満点	口述試験

◎TOEICのスコアを100点満点に換算する。

※本学府が定めるTOEIC以外（TOEFL PBT、TOEFL iBT）の外部テストスコアのTOEICスコアへの換算については、小金井地区学生支援室入試係にお尋ねください。

学力検査の日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
11月20日（月）	10：00～11：30	小 論 文	東 京 農 工 大 学 小金井キャンパス内 BASE本館1階講義室
	14：00～15：00（予定）	専 門	

[2] 外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜は、下記の日程で行い、口述試験と成績証明書を総合して合否判定を行う。

学力検査の日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
11月20日（月）	15：00～16：00（予定）	口 述 試 験	東 京 農 工 大 学 小金井キャンパス内 BASE本館1階講義室

[3] 社会人特別選抜

社会人特別選抜は、下表に従って、社会人での経験・研究等について、学力検査（口述・口頭発表）、成績証明書、業績内容等を総合して合否判定を行う。

学力検査の日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
11月20日（月）	16：00～17：00（予定）	口 述 ・ 口 頭 発 表	東 京 農 工 大 学 小金井キャンパス内 BASE本館1階講義室

6 合格者発表

平成29年12月11日（月）午前10時に小金井キャンパスBASE本館1階掲示板で発表する。合格者には受験票により確認のうえ合格通知書等を交付する。

なお、合格発表日において合格通知書等を受け取ることができない合格者に対しては、合格通知書等を郵送する。

7 入学手続

(1) 入学手続日時及び場所

日時：平成30年3月15日（木）13時30分～16時

場所：小金井キャンパス内

(2) 入学に要する費用

① 入学料

282,000円

② 授業料

年額 535,800円（前期分授業料 267,900円、後期分 267,900円）

ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(3) 必要書類等

在職のまま入学を希望する者は所属長等の入学承諾書（所定用紙）を提出しなければならない。（支払った入学費用等は返却できませんので、ご注意ください。）

また、他の大学院に在学中の者は退学証明書を提出しなければならない。

なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがある。

(4) その他

身体に障害のある者で修学上特別な措置を必要とする者は、小金井地区学生支援室入試係へ申し出ること。

8 注意事項

- (1) 出願に当たっては、志望する指導予定教員に連絡し、事前に確認を得ておくこと。
- (2) 学力検査には、必ず受験票を携帯すること。
- (3) 試験日には、筆記用具を持参すること。
- (4) 出願手続後における提出書類の内容変更は認めない。
- (5) 本要項及び大学から指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合がある。
- (6) 入学試験に関する照会は、3頁に記載の出願書類提出先とする。
- (7) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布する。

9 教育研究分野教員一覧

教育研究分野名	教 員 名
物 質 機 能 設 計	教 授 荻 野 賢 司
	准教授 Wuled Lenggoro
物 質 機 能 応 用	教 授 銭 衛 華
	准教授 稲 澤 晋
物 質 機 能 分 析	教 授 中 田 宗 隆
	准教授 橋 本 洋 平
生体医用フォトンクス	教 授 岩 井 俊 昭
	准教授 西 舘 泉
生体モデル知覚システム	教 授 齋 藤 隆 文
	准教授 田 中 雄 一
環 境 機 械 シ ス テ ム	教 授 石 田 寛
	准教授 池 上 貴 志
生体・環境応用システム	准教授 上 田 祐 樹
資 源 生 物 創 製 科 学	教 授 梶 田 真 也
	准教授 鈴 木 丈 詞
物質エネルギーシステム	教 授 神 谷 秀 博
物質エネルギー設計	准教授 富 永 洋 一
エネルギーシステム解析	教 授 秋 澤 淳
生物情報計測システム	准教授 梶 田 晃 司
食 料 安 全 科 学	教 授 佐 藤 令 一
生 物 応 答 制 御 科 学	准教授 梅 澤 泰 史
生態系型環境システム	教 授 豊 田 剛 己
環境モニタリングシステム	准教授 赤 井 伸 行

10 出願資格認定の事前審査について

出願資格の認定については、以下のとおりに事前審査を行うので、事前審査申請書類受付期間中に必要書類をそろえ大学院生物システム応用科学府事務室に提出すること。

(1) 出願資格認定を要する者

- 1) 一般選抜・外国人留学生特別選抜の出願資格⑨、⑩に該当する者。
- 2) 社会人特別選抜の出願資格⑨に該当する者。
- 3) 学校教育における課程が16年に満たない者。

(2) 事前審査申請書類受付日時

受付期間……平成29年8月23日（水）～8月24日（木）

受付時間……9時30分～11時30分、13時30分～16時30分

受付場所……小金井キャンパスBASE本館（2階）大学院生物システム応用科学府事務室

(3) 必要書類

事前審査申請書	所定用紙
最終学校の成績証明書及び卒業証明書	1) 最終学校長が作成し厳封したもの 2) 出願資格⑩については、成績証明書のみ 3) 出願資格⑨については、卒業後10年以上経過した者は卒業証明書のみ
志望理由書	所定用紙 日本語横書きで2000字程度にまとめること
学歴等調書	所定用紙
研究報告書等	1) A4用紙を使用し書式自由 2) 印刷物等がある場合は代用可 3) 出願資格⑨に該当する者のみ提出すること

(4) 事前審査日時

詳細は、おって通知する。

(5) 事前審査結果発表

平成29年9月1日（金）午前10時に小金井キャンパスBASE本館1階掲示板で発表する。

(6) 出願資格が認定された者の出願手続

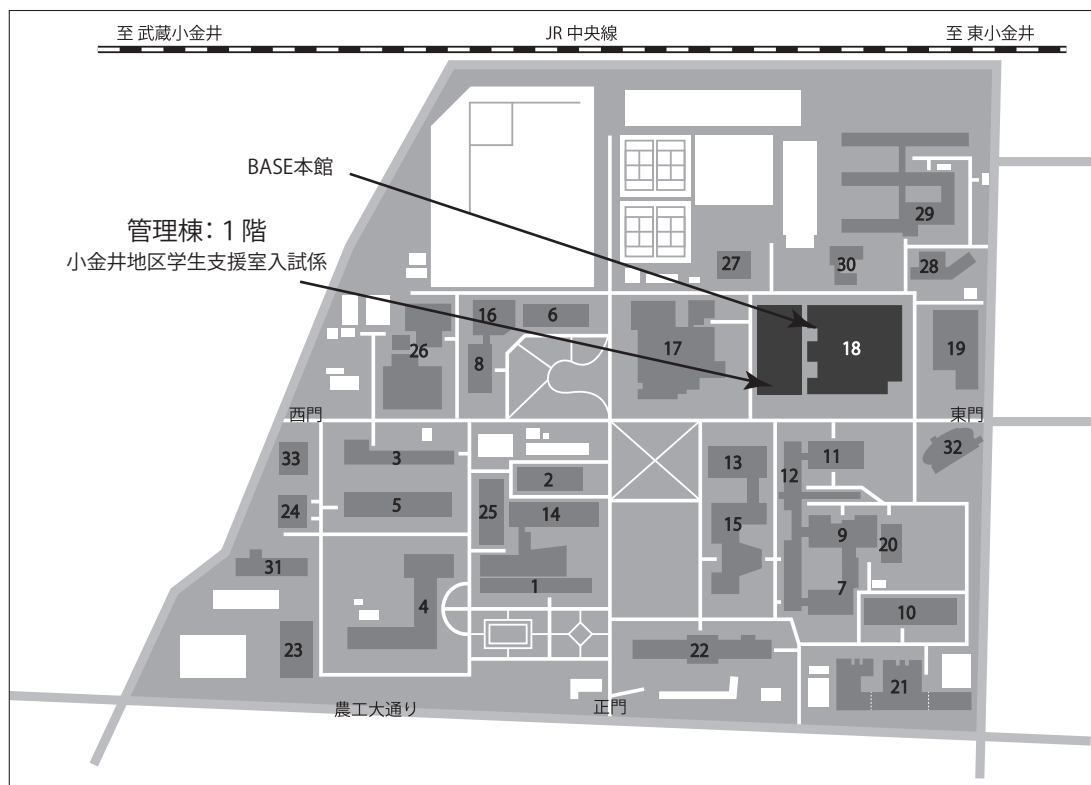
事前審査の結果、出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様の出願手続を行うこと。

(7) その他

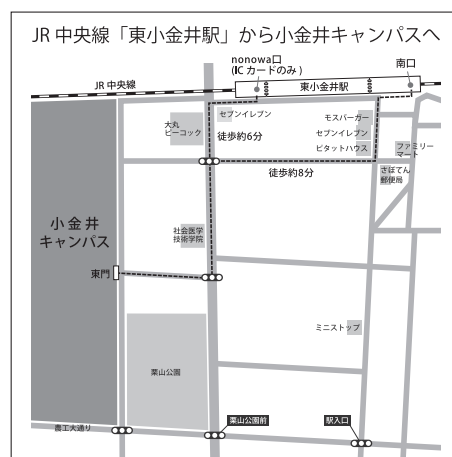
一般選抜、外国人留学生特別選抜の出願資格⑩により本学府博士前期課程に入学した場合、学部学生としての学籍上の身分は退学となる。これにより、各種国家試験等の受験資格で大学の学部卒業が要件となっているものについては受験資格がないことになるので十分留意すること。ただし、大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査及び試験に合格した場合は、学士の資格を取得することができる。

11 所在地

東京農工大学小金井キャンパス案内図



1 1号館(応用分子化学科・有機材料化学科・化学システム工学科)	10 10号館(生命工学科・応用分子化学科・情報工学科)	18 BASE本館(大学院生物システム応用科学府(BASE))	28 小金井国際交流会館
2 2号館(機械システム工学科)	11 11号館(生命工学科・機械システム工学科)	19 工学部総合会館	29 柳寮(男子寮)
3 3号館(電気電子工学科)	12 12号館(生命工学科・有機材料化学科・機械システム工学科・情報工学科)	20 CAD/CAM実習施設	30 桜寮(女子寮)
4 4号館(有機材料化学科・化学システム工学科・物理システム工学科・産業技術専攻)	13 13号館(国際センター)	21 先端産学連携研究推進センター(VBL棟・共同研究施設・インキュベーション施設)	31 小金井第2宿舍(職員宿舎)
5 5号館(化学システム工学科・電気電子工学科・機器分析センター)	14 新1号館(応用分子化学科・電気電子工学科)	22 科学博物館	32 140周年記念会館(エリプス)
6 6号館(機械システム工学科)	15 工学部講義棟	23 先端科学実験棟	33 次世代キャパシタ研究センター
7 7号館(情報工学科)	16 中央棟(産業技術専攻・工学部事務部)	24 環境管理施設	
8 8号館(総合情報メディアセンター)	17 小金井図書館	25 ものづくり創造工学センター	
9 9号館(機械システム工学科)		26 体育館・武道場	
		27 工学部実験研究棟	



◎交通機関

J R 中央線 東小金井駅 (新宿から約25分) 南口から徒歩約 8 分
武蔵小金井駅 (立川から約13分) 南口から徒歩約13分

〒184-8588 東京都小金井市中町 2 丁目24-16 ☎ (042) 388-7014 (直通)
小金井地区学生支援室入試係

受験志願者 各位

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府

提供いただいた情報の利用について

受験出願に際し提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシー（平成17年8月公表 URL. <http://www.tuat.ac.jp/>）に規定する利用目的に沿って利用するものであり、その利用目的以外の目的に利用することはありません。

平成 30 年 4 月入学

東京農工大学大学院生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻博士前期課程（修士）（第 2 次募集）

入 学 志 願 票

受 験 番 号
※

一般選抜・外国人留学生特別選抜・社会人特別選抜（希望する選抜に○印をつける）			
教 育 研 究 分 野 名		志望する指導予定教員名	
(第一志望)			
(第二志望)			
ふ り が な 氏 名			男・女
生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日生		
本 籍 国籍又は地域	都・道・府・県 国・地域		
現 住 所	(〒 -)	電話 ()	
連 絡 場 所	(〒 -)	電話 ()	
出 願 資 格	大学 学部 学科 平成 年 月 卒業・見込		
学 歴 及 び 職 歴	昭和 平成	年 月 立	高等学校卒業
	昭和 平成	年 月	大学 学部入学
	昭和 平成	年 月	大学 学部 卒業 卒業見込
	昭和 平成	年 月	
	昭和 平成	年 月	
	昭和 平成	年 月	

注) 1 ※印欄には記入しないこと。 2 該当する文字を○で囲むこと。

平成 30 年
4 月入学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻
博士前期課程(修士)(第2次募集)
写 真 票

ふ り が な 氏 名	
生 年 月 日 (昭和・平成) 年 月 日生	

教育研究分野名	指導予定教員名
(第一志望)	
(第二志望)	

写真貼付欄
1. 写真は脱帽上半身 4 cm × 3 cm。
2. 全面に糊付する こと。

注) 1 ※印欄には記入しないこと。

平成 30 年
4 月入学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻
博士前期課程(修士)(第2次募集)
受 験 票

ふ り が な 氏 名	
生 年 月 日 (昭和・平成) 年 月 日生	

教育研究分野名	指導予定教員名
(第一志望)	
(第二志望)	

写真貼付欄
1. 写真は脱帽上半身 4 cm × 3 cm。
2. 全面に糊付する こと。

注) 1 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。
2 ※印欄には記入しないこと。

学 歴 等 調 書

【外国人、出願資格③、⑧、⑨、⑩により出願する者】

フリガナ		受験番号	※
氏 名	⑩	性 別	男 ・ 女
生 年 月 日	年 月 日 (歳)	国 籍	

学 歴					
	学 校 名	所 在 地	正 規 の 修 学 年 数	入 学 年 月 卒 業 年 月	学 位 ・ 資 格
小 学 校 又 は 初 等 教 育			年	年 月 年 月	
中 学 校 又 は 中 等 教 育			年	年 月 年 月	
高 等 学 校 又 は 中 等 教 育			年	年 月 年 月	
大 学 又 は 高 等 教 育			年	年 月 年 月	
			年	年 月 年 月	
			年	年 月 年 月	
以上を通算した全学校教育修学年数			年		

職 歴				
勤 務 先	所 在 地	勤 務 期 間	役 職	勤 務 内 容
		年 月 年 月		
		年 月 年 月		
		年 月 年 月		
以上を通算した全勤務年数		年		

【出願資格 ⑨、⑩ により出願する者】

受 験 番 号
※

平成 年 月 日

事 前 審 査 申 請 書

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府長 殿

志願者 氏^{ふりがな} 名

⑩

今般、貴大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム
科学専攻博士前期課程に入学を志願するに当たり、事前審査を受
けたく、所定の書類を添えて申請しますので、よろしくお願いし
ます。

【社会人特別選抜志願者に該当する者、出願資格⑨、⑩により出願する者】

受 験 番 号
※

志 望 理 由 書

東京農工大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士前期課程）への入学志望者、私 _____ は下記により志望します。

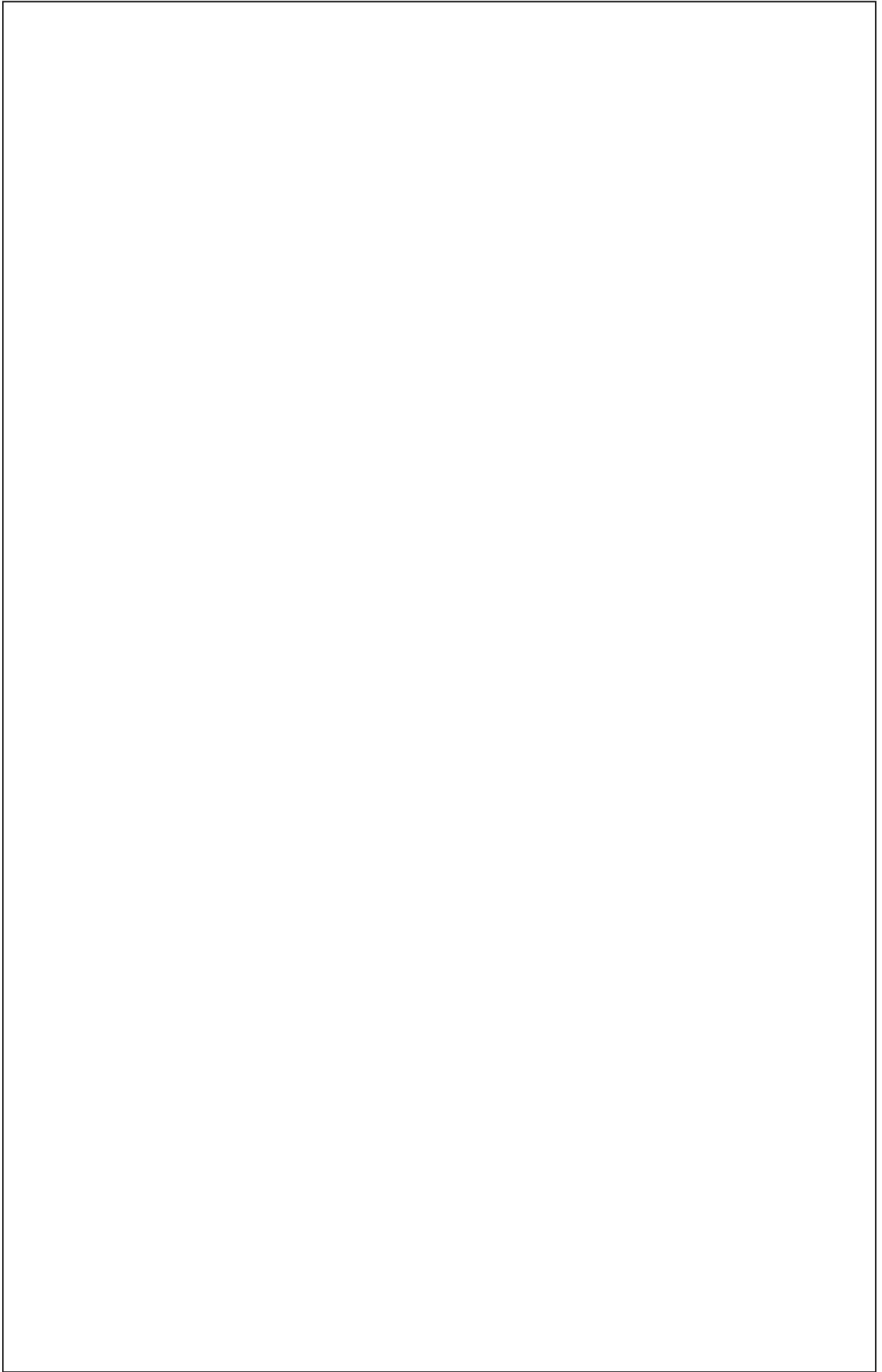
平成 年 月 日

所属・職名等 _____

氏 名 _____

◎ 志望理由、過去の研究歴や職務内容と博士前期課程において希望する研究内容との関係等について（日本語で2,000字以内にまとめる）記入してください。

--



入 学 承 諾 書

氏 名

このたび、上記の者が在職のまま貴大学大学院生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻（博士前期課程）に入学することを承諾します。

平成 年 月 日

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府長 殿

住 所

所属機関

所 属 長

印

入学検定料納付確認票

受験番号	※
------	---

「振替払込受付証明書」を
貼り付けてください。

(注意)

1. 郵便局・ゆうちょ銀行の受付
日附印がないものは無効です。
2. 振替払込受付証明書の所定欄
に志願者住所・氏名を必ず記
入してください。
3. 振替払込請求書兼受領証は大
切に保管し、ここに添付して
はいけません。
4. 納入された入学検定料は原則
返還しません。

※印欄は記入しないでください。

- ・本払込用紙に、志願者(ご依頼人)の住所・氏名(フリガナ)を記入のうえ、支払期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口でお支払いください。
- ・右端の「振替払込受付証明書」を、入学検定料納付確認票に貼り付けて提出してください。(受付局日附印のないものは無効)
- ・「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。

票 扱 取 込 払

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出してください

記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください

切り取らないでお出してください

（私製承認東京貯金事務センター第1232号）

① 入学検定料は、必ずこの払込用紙を使用して郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。

② 払込の際に日附印を押印した「振替払込受付証明書」を受け取り、入学検定料納付確認票の指定欄に貼り付けて提出してください。

(注意)

入学者住所、氏名欄に記入漏れがないか、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が漏れていないか、確認の上提出してください。

(記入漏れ、日附印のないものは無効となります。)

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。

・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収 入 印 紙
3 万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

- ① ※印欄は記入しないでください。
② このシールは、台紙にのり付けされたままの状態で提出してください。
③ 教育研究分野名、指導予定教員は、6 頁を参照してください。

受 付 用 シ ー ル

氏 名	性別	出身 大 学	グループ名	教育研究分野名	指導予定教員	入 学 期	学 籍 番 号 (本学卒業) (見込み者)	備 考
ふりがな	男・女	大学 学部 学科 学群 学類 学類 課程 課程	第1	※		平成30年 4 月		※
			第2	※				
(昭和・平成) 年 月 日生			年 月卒業・卒業見込・在学中					

連 絡 受 信 先 シ ー ル

このシールは、「入学手続き類」、その他連絡事項を送付する場合の宛名として使用します。

郵便番号

〒 ー

住 所

ー

ー

ー

ー

氏 名

殿

(※)

〒 ー

ー

ー

ー

ー

殿

(※)

〒 ー

ー

ー

ー

ー

殿

(※)

〒 ー

ー

ー

ー

ー

殿

(※)